

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 :グループホーム 大平

作成日 : 平成22年 4月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	自立した生活支援の継続、及び予防的な観点をプランに反映させるため、ご家族との話し合いや職員の観察力の強化	一人ひとりの思いや暮らし方の希望・威光を把握し、笑顔で安心して自立した日常生活の継続が出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりの中で、声をかけ一人ひとりの行動パターンや表情・動作を把握する。 ・ご家族にホームでの日常生活を報告し、変わったことがあれば報告・連絡し予防的観点を話し合う。 ・一人ひとりの思いや希望をアセスメントし担当職員でセンター方式「私の姿と気持ちシート」に記入 ・ご家族様にご本人の生活歴の大切さを伝え、小さなことからでも情報をいただく。 ・書き込んだ気持ちシートに対して、どの様に関われば思いに添えるか職員全員でカンファレンスを行いプランに反映させる。 	6ヶ月
2	49	1対1の外出や全員で出かけられる場所をリサーチし、入居者様の楽しみにつなげる	外出で楽しみを持ち日常生活にメリハリができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・気候的にも外出の機会を増やすことが出来る ・場所のリサーチを行う 	2ヶ月
3	4	運営推進会議において、地域の行事・老人会の行事等の情報を得る	グループホームに気軽に寄ってもらえるように、地域とのつながりを密にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、老人会の行事等参加できることには参加し、地域の方々と馴染みになる。また、場所の提供を行う。 ・道で出会った時など挨拶を交わし、気軽に立ち寄ってもらえるような雰囲気で作声かけを行な 	6ヶ月
4	35	地震・風水害の対策、避難方法について認識を統一した訓練の実施	地震・風水害における安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・起こり得ると思われるリスクの検討 ・リスクに対する安全確保の検討 ・地域の消防訓練への参加 ・地域の消防団と関わりを持つ 	6ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

